

障害を正しく知ること、私たちにできること。



青に
なりましたよ

◀杖を持つ手には触れないで。
突然体に触れたり、手を引っ張ったりすると
事故につながる恐れもあります。
まずは前から近づいて、声をかけましょう。



▲盲導犬と一緒に信号待ち。



列車が
遅れていますよ

聴覚障害

「全く聞こえない」または、「聞こえにくい」という障害です。

聞こえ方や育った環境、年齢などにより、「手話」や「筆談」など、コミュニケーションの方法は人によってさまざまです。

相手に合わせた伝達を



▲前田心美さん

全く聞こえないので、駅の構内アナウンスは分かりません。手話で会話する私にとっては、手話で伝えてもらうのが一番良いです。手話でなくても、正面から口をはっきり動かして話したり、身振り手振りで伝えたり、工夫してもらえると分かりやすいです。

視覚障害

「全く見えない」または、「見えにくい」視野が狭い、まぶしく見える、ぼやけるなど」という障害です。

移動に困難を伴うことが多く、点字ブロックや電柱などの構造物を白杖などで確認しながら歩きます。また、盲導犬と一緒に歩くこともあります。

まずは声かけから



▲高 清秀さん

「青」になっても渡らないようなときは、ひと声かけてもらえると良いですね。

見て判断することができないので、音の出ない信号機だと、横断歩道を渡るタイミングが難しいです。これは盲導犬ユーザーも同じです。

こんな方法もあります



▲スマートフォンのメモ機能も活用できます。



▲神矢徹石さん

私は難聴ですが、正面からゆっくりとはっきり話してもらえれば、会話をすることが出来ます。周りの雑音で聞こえにくいときは、筆談も利用しますよ。

点字ブロックの邪魔をしない

▼点字ブロックの上に物を置いたり、立ち止まったりしないようにしましょう。



盲導犬は

周囲の安全などに気を配りながら仕事をしています。

触ったり、声をかけたりしないで。また、水や食べ物を与えたり、自分のペットを近づけたりするのもやめましょう。

支援者の声

障害は、聴覚障害や視覚障害を含む身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、難病などさまざまです。外見からは分かりにくい場合もあり、障害のある人は、日常生活や社会参加に困難が生じたり、周囲に誤解をされたりすることがあります。

また、そのことによって生きづらさを抱えている人も少なくありません。



▲北九州市立浅野社会復帰センター相談支援専門員 山田あゆみさん

精神に障害のある人は、頑張りがすぎたり、我慢をしすぎたりすることも多いので、常に声をかけて、心の変化に気を配っています。

その人に合ったペースを見極めるために、まずは寄り添う気持ちが必要です。

家族の声

一見、理解しづらい行動をするので、誤解されることもあります。そんなとき、周りの人が理解を示してくれて、気持ちに救われました。(知的障害)

私の子どもは、絵や図を使って予定を伝えると、落ち着いて行動できます。

発達障害といっ

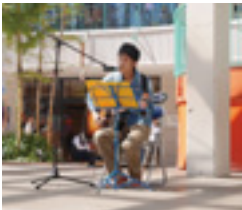
てもいろいろ。まずは特性を知ってほしいですね。(発達障害)



障害や障害のある人をもっと知ろう！～交流イベントの開催～

障害者芸術祭PRイベント

11月下旬～12月上旬に開催予定の「障害者芸術祭」の紹介をします。ギター演奏、モモマルくんとのお触れ合いなど。



10月5日(土)おむね 13～14時30分、チャチャタウン小倉(小倉北区砂津三丁目)で。荒天中止。問 北九州市身体障害者福祉協会 ☎8833・5555、☎8833・5551へ。問 保健福祉局障害福祉企画課 ☎582・2453。

東部障害者福祉会館の文化祭「ふれあい広場」

ステージ発表・作品展示や点字・手話教室、バザーなど。



10月20日(日)10～15時、東部障害者福祉会館(戸畑駅前、ウエルとばた6・7階)で。手・要あり。問 同施設 ☎8833・5550、☎8833・5551へ。

西部障害者福祉会館の文化祭「であい・ゆめ広場」

日本舞踊や車いすダンスのステージ、点訳・音訳の体験、作品展示など。11月10日(日)10～14時30分、西部障害者福祉会館(黒崎駅西側、コムシテイ5階)で。手・要あり。問 同施設 ☎645・1300、☎645・1600へ。

